

縄文貝塚研究と酒詰仲男 ～没後50年～

期 間：2015年9月26日(土)～11月8日(日)
閉 室 日：月曜日、祝日
場 所：ハリス理化学館同志社ギャラリー2階 企画展示室
主 催：同志社大学歴史資料館



和歌山県笠島遺跡調査時の酒詰氏



酒詰仲男氏

10月11日(日)に公開講演会を予定しています。
詳細については、同志社大学歴史資料館HPやチラシなどでお知らせします。
同志社大学歴史資料館HP
<http://hmuseum.doshisha.ac.jp/>

お問い合わせ
同志社大学歴史資料館
電話：0774-65-7255
Email：jt-reksi@mail.doshisha.ac.jp

新島旧邸公開のお知らせ

新島旧邸の敷地には、幕末まで御用大工棟梁中井家の屋敷があり、明治初年には中井屋敷を公家高松保実が所有していました。1875(明治8)年11月29日、新島襄は、この高松邸の半分を賃借して、生徒8名で同志社英学校を開校しました。翌年、学校は旧薩摩藩邸に移りますが、その後、新島は高松邸を購入し、自宅を1878(明治11)年に建築しました。これが、現在の新島旧邸です。同志社発祥の地に建つ新島旧邸を、同志社の建学の理念を体感する場として公開します。

公開期間 ①通常公開
10月1日～11月28日、2016年3月1日～31日
毎週 火・木・土曜日(祝日は除く)
②特別公開
10月30日～11月3日までの5日間(秋の御所の一般公開期間)、
11月8日(ホームカミングデー)、11月29日(創立記念日)、
2016年3月20日～22日(卒業式)
※公開日の詳細はHPをご覧ください。<http://archives.doshisha.ac.jp>

公開時間 10:00～16:00(入館受付は15:30まで)
見学対象 ①通常公開
旧邸周囲から建物内部を見学(建物内にはあがれません)
②特別公開
旧邸周囲及び建物内部(母屋1階と附属屋)に入場可
※旧邸建物内に一度に入れる人数は20名程度とします。

入 場 料 無料
場 所 京都市上京区寺町通丸太町上ル松蔭町
※駐車場、駐輪場はありません。公共交通機関を利用してお越しください。
団体見学申込 10名以上の団体は、予約が必要です。団体予約は、見学日の1週間前までに電話・FAX・E-mailにて下記にお申し込みください(電話受付は10:00～16:30)。



入場無料

団体申込・お問い合わせ
ハリス理化学館同志社ギャラリー事務室(日・月・祝日は閉室)
TEL：075-251-2716 FAX：075-251-2736
E-mail：n-kyutei@mail.doshisha.ac.jp

戦時下の同志社高等女学部・ 同志社女子専門学校

今年は戦争が終わって70年の節目の年。今回の企画展では、戦争と平和を見つめ直します。「戦時下の京都」、「同志社女子部の生徒たち」そして「同志社の社員たち」の3部構成で、キリスト教主義の女子教育機関としての本学がどのような状況にあったのかを明らかにします。

期 間：2015年11月20日(金)～2016年7月29日(金)
時 間：10:00～16:00
閉 室 日：土・日曜日、祝日（ただし、11月21日、22日、23日を除く）
2015年12月25日(金)～2016年1月5日(火)
2016年5月2日(金)

場 所：同志社女子大学史料室
(今出川キャンパスジェームズ館1階展示室)

主 催：同志社女子大学

★公開講演会：日時：2015年12月12日(土) 13:00～14:00（終了予定）
演題：「昭和戦時下の同志社女子部一何を守ろうとしたのか」
講演者：宮澤正典氏（同志社女子大学名誉教授）
会場：同志社女子大学今出川キャンパス ジェームズ館207



工場動員中の礼拝

お問い合わせ：同志社女子大学史料室
〒602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入
TEL：075-251-4200 FAX：075-251-4201
E-mail：shiryo-i@dwc.doshisha.ac.jp